



ひめみやじんじゃ 姫宮神社

祭神 天照皇大神

祭日 5月5日

由来は、弘治2（1556）年に、与三左衛門が伊勢皇大神宮より
ぶんれい ほうたい ぶんれい ほうたい
分霊、奉戴し、坂西に構えた屋敷の隅に 祠 を建て祀ったのが、こ
の社の始まりといわれています。

享保2（1717）年、濱屋勘三郎により丸子（現在の坂駅南口付
近）の自宅に移し、文化10（1813）年には、濱屋小平が恵美須（旧役場跡隣接地）に遷座し、以前よりこの地に祀られていた恵美須
社と並ぶこととなりました。慶応2（1866）年3月に、森浜迫社（現在の森浜地区住民福祉協議会）として祭祀され、毎年5月5日
に祭事が行われています。

その後昭和39（1964）年、旧役場の拡張のため総頭川恵美須橋の側に遷座し、昭和56（1981）年には、社殿改修が行われました。

さらに、令和3（2021）年、県道坂小屋浦線高架橋設置工事に伴い、町道浜田中洲線の道路拡幅と合わせて総頭川恵美須橋も拡幅さ
れ、再度現在地に遷座されました。

 坂町教育委員会

※令和4年5月現在、町道浜田中洲線の道路拡幅工事に伴い、5m上流側へ仮移設中。（写真は移設前のものです）

